

1. 自己評価及び外部評価結果

作成日 平成30年4月3日

【事業所概要(事業所記入)】

事業所番号	4670500224
法人名	医療法人 芳清会
事業所名	グループホーム さくらの丘
所在地	鹿児島県いちき串木野市生福8974番地 (電話) 0996 - 21 - 2777
自己評価作成日	平成30年3月3日

【事業所が特に力を入れている点・アピールしたい点(事業所記入)】

- ・母体病院からの24時間医療連携体制、毎日の看護師訪問による健康管理
- ・母体病院からの管理栄養士による献立
- ・感染症予防の為、1日2回以上消毒(手すり、扉等の手の触れる箇所等)
- ・衛生面にて、入浴は一人ひとり掃除、お湯入替
- ・空気清浄機、加湿器完備 (共有フロア)
- ・年6回以上の行事

※事業所の基本情報は、介護サービス情報の公表制度のホームページで閲覧してください。

基本情報リンク先URL	http://www.wam.go.jp/content/wamnet/pcpub/top/
-------------	---

【評価機関概要(評価機関記入)】

評価機関名	NPO法人自立支援センターかごしま福祉サービス評価機構
所在地	鹿児島県鹿児島市星ヶ峯四丁目2番6号
訪問調査日	平成30年3月19日

【外部評価で確認した事業所の優れている点、工夫点(評価機関記入)】

- ・当ホームは母体が医療法人であり24時間医療連携体制が整い、毎日看護師による健康管理に気を配っている。
- ・町内会に加入し、ホームの四季便りや行事の案内など、回覧板を通して発信し、地域の行事への参加やホームの行事に地域住民やボランティアの訪問がある。父の日には保育園児たちのダンスや手作りのプレゼント等があり、七夕には七夕飾りを持って来所。地域とのふれ合いが密で、大人から子供まで交流があり地域に根ざしている。
- ・利用者の楽しみや個々の力量に応じて、編み物やビーズ細工・新聞購読等を支援している。
- ・管理者や職員間のコミュニケーションが良く、資格取得の支援や研修会への参加を奨励し、職員は自己研鑽に努めている。
- ・家族との関わりを大切にして、家族会や個人面談・お便りを通して連携を深めて、何でも気軽に連携を取っている。

自己評価	外部評価	項 目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
Ⅰ. 理念に基づく運営					
1	1	○理念の共有と実践 地域密着型サービスの意義を踏まえた事業所理念をつくり、管理者と職員はその理念を共有して実践につなげている	理念朝礼で唱和し再確認 ユニットにも理念掲げ日々実践に努めている	地域密着型サービスを踏まえた理念を事務室に掲示し、パンフレットにも掲載し、朝礼で唱和している。月1回の全体会議でケアの実践を振り返り、確認しながら理念を共有して実践に繋げている。年1回、ユニット会議でもケアの振り返りを行っている。	
2	2	○事業所と地域とのつきあい 利用者が地域とつながりながら暮らし続けられるよう、事業所自体が地域の一員として日常的に交流している	地域の花見、敬老会の行事等に参加、交流 外食等の利用も地域で行い楽しみが持てるように工夫	町内会に加入して、回覧板での情報収集やホームの便りや行事の案内等を、回覧板に入れてもらっている。地域の行事の花見や敬老会に参加したり、ホームの行事の運動会や夏祭りには、子供達や地域住民・ボランティアが沢山参加があり賑やかである。近隣の保育園児との交流やボランティアの受け入れも行っている。日常的には、散歩やあいさつを交わし、地域の一員として交流している。	
3		○事業所の力を生かした地域貢献 事業所は、実践を通じて積み上げている認知症の人の理解や支援の方法を、地域の人々に向けて生かしている。	地域見守・徘徊SOS訓練等参加 四季便り等にて、行事案内などを回覧板にて気軽に参加お知らせしている		

自己評価	外部評価	項 目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
4	3	○運営推進会議を活かした取り組み 運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている	公民館長、民生委員、地域包括支援センター、家族代表に行事に参加していただき情報開示現状を説明し議題にて意見等をもらっている	会議は定期的開催している。事業所の状況やヒヤリハット・外部評価の報告などを行い、参加者からも多くの助言や提案が出され、自然災害や原発等についてのアドバイスが訓練に活かされている。ヒヤリハットについても詳細に記録し、事故防止に努めている。	
5	4	○市町村との連携 市町村担当者と日頃から連携を密に取り、事業所の実情やケアサービスの取り組みを積極的に伝えながら、協力関係を築くように取り組んでいる。	日頃から疑問、相談等、連絡をしアドバイスを受けている	市担当者には、困難事例や事故報告など必要に応じて電話や窓口に出向き相談や情報を交換して助言を貰っている。運営推進会議を通して協力関係もでき、市主催の研修会や地域包括支援センター主催の認知症サポーター養成講座にも積極的に参加している。	
6	5	○身体拘束をしないケアの実践 代表者及び全ての職員が「指定地域密着型サービス指定基準及び指定地域密着型介護予防サービス指定基準における禁止の対象となる具体的な行為」を正しく理解しており、玄関の施錠を含めて身体拘束をしないケアに取り組んでいる。	常に情報共有、意見交換にて身体拘束はないことを確認玄関施錠は、昼間は常に開放夜間はスタッフが少人数になり安全と外部からの危険防止のため施錠	身体拘束廃止委員会でマニュアルに沿って勉強会を実施している。対象となる事例検討などで職員の共通認識を図り、身体拘束をしないケアに取り組んでいる。言葉による拘束や声かけなどで日々配慮している。日中の玄関の施錠はせず、外出しそうな様子を察知したら、職員間の連携で安全な暮らしを支援している。地域の見守りもある。	

自己評価	外部評価	項 目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
7		○虐待の防止の徹底 管理者や職員は、高齢者虐待防止法等について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や事業所内での虐待が見過ごされることがないように注意を払い、防止に努めている	資料等により知識を得ながら常時スタッフ間で話し合い検討。虐待等が見過ごされることがないように確認、充分に注意		
8		○権利擁護に関する制度の理解と活用 管理者や職員は、日常生活自立支援事業や成年後見制度について学ぶ機会を持ち、個々の必要性を関係者と話し合い、それらを活用できるよう支援している。	現在対象者はいない 資料等で確認		
9		○契約に関する説明と納得 契約の締結、解約又は改定等の際は、利用者や家族の不安や疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得を図っている。	入退居時に契約書に伴い理解が得られるような例え補足を付加えながら説明		
10	6	○運営に関する利用者、家族等意見の反映 利用者や家族等が意見、要望を管理者や職員並びに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている。	利用者、家族から希望等申送りノート、会議、行事カンファレンス等を通じて常に検討	利用者からは日々の関わりの中で意見や要望を聞いて対応している。家族からは面会や家族会・電話・運営推進会議が意見を聞く良い機会となっている。毎月の便りで現状を報告している。出された要望で、個人で新聞を購読したり、外出する機会を多くしたり、晩酌を取り入れるなど、暮らしの中で活かされている。	

自己評価	外部評価	項 目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
11	7	○運営に関する職員意見の反映 代表者や管理者は、運営に関する職員の意見や提案を聞く機会を設け、反映させている。	毎月1回のユニット会議及び、理事長同席の全体会議にて意見、提案等を挙げ議論 年2回個人面談	理事長同席の職員会議や毎月のユニット会議等で職員の意見や提案を聞く機会を設け、反映を図るよう心がけている。年2回、個人面談も実施している。出された提案で、職員の休憩室の設置やフリー時間の取得・食材について・資格取得の支援など、運営に反映している。	
12		○就業環境の整備 代表者は、管理者や職員個々の努力や実績、勤務状況を把握し、給与水準、労働時間、やりがいなど、各自が向上心を持って働けるよう職場環境・条件の整備に努めている。	人事評価、個別面談にて適材適所を考え、個人の評価、意見を聞きながら、職場環境整備		
13		○職員を育てる取り組み 代表者は、管理者や職員一人ひとりのケアの実際と力量を把握し、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている	法人外研修の日程を事前掲示通達、掲示し出席促 また力量に応じて声かけ 法人内でも勉強会も行い質の向上		
14		○同業者との交流を通じた向上 代表者は、管理者や職員が同業者と交流する機会をつくり、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取り組みをしている	勉強会、研修会、運営推進会議等を通して同業者との交流		

自己評価	外部評価	項 目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
Ⅱ.安心と信頼に向けた関係づくりと支援					
15		○初期に築く本人との信頼関係 サービスの利用を開始する段階で、本人が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、本人の安心を確保するための関係づくりに努めている	本人、家族と面談を行い生活暦、要望等を確認 入居後、安心した生活が送れる様努めている		
16		○初期に築く家族等との信頼関係 サービスの利用を開始する段階で、家族等が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、関係づくりに努めている	利用者、家族が優先的に今どのような支援が必要か話し合い希望に沿えるよう努めている		
17		○初期対応の見極めと支援 サービスの利用を開始する段階で、本人と家族等が「その時」まず必要としている支援を見極め、他のサービス利用も含めた対応に努めている	利用者、家族が優先的に今どのような支援が必要か話し合い希望に沿えるよう努めている		
18		○本人と共に過ごし支え合う関係 職員は、本人を介護される一方の立場に置かず、暮らしを共にする者同士の関係を築いている	できる事、できない事を情報収集し収集しスタッフ間で共有し、見極め支え合える関係に努めている		

自己評価	外部評価	項 目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
19		○本人と共に支え合う家族との関係 職員は、家族を介護される一方の立場に置かず、本人と家族の絆を大切にしながら、共に本人を支えていく関係を築いている	毎月の便りで状態、様子、受診報告。面会時には声をかけて相談等 また特変時は、その都度電話連絡で説明		
20	8	○馴染みの人や場との関係継続の支援 本人がこれまで大切にしてきた馴染みの人や場所との関係が途切れないよう、支援に努めている	外出泊は自由なので、面会時等、お茶等を提供し好きな場所で支援	親戚や友人・知人の面会が多く、一緒にお茶を飲んだりしている。馴染みの理美容師の訪問やユニット間の交流など、継続的關係が途切れないよう支援している。電話や手紙の取次ぎなども行っている。家族の協力で墓参や理美容院利用などの際にも支援している。	
21		○利用者同士の関係の支援 利用者同士の関係を把握し、一人ひとりが孤立せずに利用者同士が関わり合い、支え合えるような支援に努めている	共通する話題の会話、レクリエーション等、コミュニケーション等で関わりが持てるような、環境作り支援		
22		○関係を断ち切らない取り組み サービス利用〈契約〉が終了しても、これまでの関係性を大切にしながら、必要に応じて本人・家族の経過をフォローし、相談や支援に努めている	行事案内状にて参加、転院先等へお見舞い等を通じて相談等支援		

自己評価	外部評価	項 目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
Ⅲ. その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント					
23	9	○思いや意向の把握 一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している。	入居時、本人、家族から希望、要望を聞いている 困難時は、随時もしくは定期的にカンファレンスを行い、できるだけ本人の意向に沿えるように努めている	入居時に本人や家族から希望や意向を把握し、日々の生活の中で意見や要望を聞いて対応している。困難な場合は、表情を見ての声かけや家族から情報を得て職員間で話し合い、本人本位に検討している。	
24		○これまでの暮らしの把握 一人ひとりの生活暦や馴染みの暮らし方、生活環境、これまでのサービス利用の経過等の把握に努めている	入居時、前生活のサマリー等で職員は共有し、後は本人家族からの情報収集に努めている		
25		○暮らしの現状の把握 一人ひとりの一日の過ごし方、心身状態、有する力等の現状の把握に努めている	記録、基本午前と午後のバイタルチェックや声かけ表情確認 また訪問看護師との情報交換、共有等で現状把握		
26	10	○チームでつくる介護計画とモニタリング 本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映し、現状に即した介護計画を作成している	日常生活ケアより課題を見出し本人、家族希望・意見を確認 随時もしくは定期的に、カンファレンス計画作成	本人や家族の意向を確認し、主治医の意見も踏まえた担当者会議で、個々に応じた介護計画を作成している。3ヶ月毎にモニタリングを実施し、見直しは6ヶ月で行っている。状況が変化した時は現状に即した介護計画を作成している。	

自己評価	外部評価	項 目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
27		○個別の記録と実践への反映 日々の様子やケアの実践・結果、気づきや工夫を個別記録に記入し、職員間で情報を共有しながら実践や介護計画の見直しに活かしている	個別健康状態、ケアプランに添った記録で確認 実践経過内容共有 また特記等状態変化時は看護記録で情報共有		
28		○一人ひとりを支えるための事業所の多機能化 本人や家族の状況、その時々生まれるニーズに対応して、既存のサービスに捉われない、柔軟な支援やサービスの多機能化に取り組んでいる	その時の状況に応じて検討、判断し可能な限り対応		
29		○地域資源との協働 一人ひとりの暮らし方を支えている地域資源を把握し、本人が心身の力を発揮しながら安全で豊かな暮らしを楽しむことができるよう支援している	散髪は地域出張利用 初詣、花見、ドライブ等 地域敬老会、外食等で地域と関わりを大切にしながら楽しみが持てるよう支援		
30	11	○かかりつけ医の受診支援 受診は、本人及び家族等の希望を大切にし、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している	本人と家族の希望支援	受診は、本人及び家族の希望で、ほとんど母体医療機関が主治医となっている。2週間に1回の訪問診療もある。他科受診は家族の協力を得て支援している。毎日訪問看護師が訪れている。母体医療機関とは24時間対応の医療連携体制が築かれ、緊急時の対応などにも連携を取りながら適切な医療を受けられるよう支援している。	

自己評価	外部評価	項 目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
31		○看護職員との協働 介護職員は、日常の関わりの中でとらえた情報や気づきを、職場内の看護職員や訪問看護師等に伝えて相談し、個々の利用者が適切な受診や看護を受けられるように支援している	母体病院より医療連携体制にて正看護師訪問し健康管理 役職者中心として看護記録を情報交換、共有		
32		○入退院時の医療機関との協働 利用者が入院した際、安心して治療できるように、また、できるだけ早期に退院できるように、病院関係者との情報交換や相談に努めている。または、そうした場合に備えて病院関係者との関係づくりを行っている。	入院時情報提供書作成 また面会時、退院後情報交換支援		
33	12	○重度化や終末期に向けた方針の共有と支援 重度化した場合や終末期のあり方について、早い段階から本人や家族等と話し合いを行い、事業所でできることを十分に説明しながら方針を共有し、地域の関係者と共にチームで支援に取り組んでいる	早期段階で本人と家族の意向話し合い、できるだけ希望に沿えるよう主治医と相談、説明	契約時に、重度化や終末期に伴う対応の指針を説明して、同意を得ている。状況変化に伴い事業所でできる事を説明しながら、早い段階から主治医と家族と話し合い方向性を共有できるよう取り組んでいる。	
34		○急変や事故発生時の備え 利用者の急変や事故発生時に備えて、すべての職員は応急手当や初期対応の訓練を定期的に行い、実践力を身に付けている	マニュアル等にて常時シュミレーション、確認状況に応じて母体病院に指示指導		

自己評価	外部評価	項 目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
35	13	○災害対策 火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を全職員が身につけるとともに、地域との協力体制を築いている	自衛避難訓練を特に夜間想定で繰返し確認 地域とは自治会長電話連絡で協力体制	消防署立会いのもとで年1回、自主で3ヶ月毎に昼夜AEDやスプリンクラー・緊急通報装置を設置し、災害マニュアルも整備されている。地域とは自治会長に電話連絡での協力体制もできている。災害用の水や米・乾物類・乾パン等を備蓄しガーゼなどの処置品類、カセットコンロなどもある。	

自己評価	外部評価	項 目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
36	14	○一人ひとりの人格の尊重とプライバシーの確保 一人ひとりの人格を尊重し、誇りやプライバシーを損ねない言葉かけや対応をしている	言葉使い、表情に気をつけ利用者個人々に合わせた声かけ対応	マニュアルを作成している。接遇等の勉強会を行い、職員の資質向上に取り組んでいる。一人ひとりを把握し、言葉かけや対応に気配りしている。入室や入浴介助・トイレ誘導などでは羞恥心に対する配慮を行っている。トイレでのノックや声のトーン・物音等、気を付けている。食事は温かい物を提供している。	
37		○利用者の希望の表出や自己決定の支援 日常生活の中で本人が思いや希望を表したり、自己決定できるように働きかけている	日常的にできる限り本人希望尊重し自己決定ができるような声かけ		
38		○日々のその人らしい暮らし 職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切に、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している	時には業務を優先しないといけない状況もあるが、できるだけ本人希望に沿えるよう支援		
39		○身だしなみやおしゃれの支援 その人らしい身だしなみやおしゃれができるよう支援している	季節に応じた服装声かけ一緒に着替え準備、手足爪切支援		

自己評価	外部評価	項 目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
40	15	○食事を楽しむことのできる支援 食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員と一緒に準備や食事、片付けをしている	嗜好、状態を把握、食事状況、嫌い（苦手）な物は代替提供、刻み、ほぐし等で食べやすいよう工夫 食材下ごしらえ等できることはスタッフと一緒に作業	献立は、旬の食材を使用し、利用者の嗜好や食事の形態に配慮している。食事の下ごしらえや片づけ・食材のつわの皮むき・たけのこの皮むき等を職員と一緒にしたりしている。誕生食やひな祭り・父の日・母の日・敬老会・七夕等に楽しい食事会を行っている。外食に行ったり、ウッドデッキでの食事など、食事が楽しみなものになるよう工夫している。	
41		○栄養摂取や水分確保の支援 食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている	食事摂取量、水分量をチェック表活用し、管理栄養士計算の献立提供		
42		○口腔内の清潔保持 口の中の臭いや汚れが生じないように、毎食後、一人ひとりの口腔状態や本人の力に応じた口腔ケアをしている	口腔ケアのできる方は声かけ、できない方は毎食後介助。口腔用ティッシュ、スポンジブラシも使用 夕食後は入れ歯洗浄剤にて清潔保持		

自己評価	外部評価	項 目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
43	16	○排泄の自立支援 排泄の失敗やおむつの使用を減らし、一人ひとりの力や排泄のパターン、習慣を活かして、トイレでの排泄や排泄の自立に向けた支援を行っている	一人ひとりの残存機能を確認、把握排泄チェック表活用し定期的声かけ、介助できるだけトイレでの排泄リズムの支援	排泄パターンを把握して、誘導に気配りしながら、可能な限りトイレでの排泄を支援している排泄のバイタル表を活用して、パターンを把握して、定期的に声かけ誘導している。できるだけトイレでの排泄を支援してオムツの軽減に努めている。食事や、水分補給や運動にも気配りして、自立に向けた支援をしている。	
44		○便秘の予防と対応 便秘の原因や及ぼす影響を理解し、飲食物の工夫や運動への働きかけ等、個々に応じた予防に取り組んでいる	排泄チェック表活用し水分補給、腹部マッサージ等、体操等運動で対応状態により主治医相談処方もしくは調整対応		
45	17	○入浴を楽しむことができる支援 一人ひとりの希望やタイミングに合わせて入浴を楽しめるように、職員の都合で曜日や時間帯を決めてしまわずに、個々に応じた入浴の支援している	できるだけ、希望に沿えるよう支援 曜日、時間変更等の希望がある場合はできるだけ希望に沿えるようにも支援状態に応じて清拭等対応	入浴は週に3回、午前中を基本にしているが柔軟に対応している。二人介助であり、入浴を拒む方はいない。個浴で入浴剤を使う方もいる。入浴を拒む人にも時間調整など職員の連携で、個々に応じた入浴の支援をしている。必要に応じて清拭も行っている。	

自己評価	外部評価	項 目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
46		○安眠や休息の支援 一人ひとりの生活習慣やその時々 の状況に応じて、休息したり、安 心して気持ちよく眠れるよう支 援している	前夜等睡眠状態把握し 夜間眠れない時は寄添い 傾聴し安眠支援 または主治医相談し内服等 対応		
47		○服薬支援 一人ひとりが使用している薬の 目的や副作用、用法や用量につ いて理解しており、服薬の支援 と症状の変化の確認に努めてい る	薬説明書個人々ファイル 添付し、いつでも確認できる ようにしてあり把握確認 状態変化時は主治医報告		
48		○役割、楽しみごとの支援 張り合いや喜びのある日々を過 ごせるように、一人ひとりの生 活暦や力を活かした役割、嗜好 品、楽しみごと、気分転換等の 支援をしている	したいこと、できること を見つけ、お願いしている 季節応じ行事、ドライブ 誕生日は誕生者嗜好品にて 祝記念写真撮影支援		
49	18	○日常的な外出支援 一人ひとりのその日の希望にそ って、戸外に出かけられるよう に支援に努めている。また、普 段は行けないような場所でも、 本人の希望を把握し、家族や地 域の人々と協力しながら出かけ られるように支援している。	外出泊は基本自由 正月、お盆等は本人希望、 家族と相談し支援	日常的には周辺の散歩をしたり、 ウッドデッキでのお茶会や外気 浴を楽しんでいる。希望で買 い物に出かけたりもする。行 事計画で初詣やドライブ、花 見、くだもの狩りに出かけて いる。家族の協力外出や、外 食、墓参などの際にも支援し ている。	

自己評価	外部評価	項 目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
50		○お金の所持や使うことの支援 職員は、本人がお金を持つことの大切さを理解しており、一人ひとりの希望や力に応じて、お金を所持したり使えるように支援している	殆どの利用者が金銭管理難しくトラブル防止のため家族の了解得て預り金として事務所金庫にて預り管理 病院受診等の外出に希望あれば買物支払支援		
51		○電話や手紙の支援 家族や大切な人に本人自らが電話をしたり、手紙のやり取りができるように支援している	手紙の代筆（読）、電話使用は自由で希望時に支援		
52	19	○居心地のよい共用空間づくり 共用の空間（玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等）が、利用者にとって不快や混乱を招くような刺激（音、光、色、広さ、湿度など）がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている	フロアには室温時計で空気清浄機、加湿器調整し気持ちよく過ごせる様整備 利用者作品、時には季節の花々を飾り居心地よく過ごせるような工夫	共用の空間はゆったりとした造りで明るい。天井が高く採光や換気・温度・湿度に配慮し清潔である。季節の花やひな人形・武者人形などを飾り、季節感を大事にしている。周囲の壁には行事の写真や利用者の作品が掲示されている。ウッドデッキでお茶や外気浴も楽しんでいる。畳間もあり、多くのソファで居心地よく過ごせるような工夫がされている。	
53		○共用空間における一人ひとりの居場所づくり 共用空間の中で、独りになれたり、気の合った利用者同士で思い思いに過ごせるような居場所の工夫をしている	坪庭前に対面ソファを配置。利用者同士（家族）が談話等、ゆっくり過ごしてもらえるよう支援		

自己評価	外部評価	項 目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
54	20	○居心地よく過ごせる居室の配慮 居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのものを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている	電化製品、家具など使い慣れた品物を持ち込んでもらい環境整備工夫	居室には、ベッドや押入れ・エアコンが備え付けてある。寝具やテレビ・タンス・ソファ・机・椅子・時計・位牌・遺影・家族写真など、使い慣れた物や家族の思いが伝わるものが持ち込まれ、安心して過ごせるよう配慮されている。	
55		○一人ひとりの力を活かした安全な環境づくり 建物内部は一人ひとりの「できること」や「わかること」を活かして、安全かつできるだけ自立した生活が送れるように工夫している	利用者の状態に合わせ理事長、スタッフ、時には家族と相談検討 環境作りの環境整備工夫		

V アウトカム項目

56	職員は、利用者の思いや願い、暮らし方の意向を掴んでいる。 (参考項目：23, 24, 25)		1 ほぼ全ての利用者の
		○	2 利用者の2/3くらいの
			3 利用者の1/3くらいの
			4 ほとんど掴んでいない
57	利用者と職員が一緒にゆったりと過ごす場面がある。 (参考項目：18, 38)		1 毎日ある
			2 数日に1回程度ある
		○	3 たまにある
			4 ほとんどない
58	利用者は、一人ひとりのペースで暮らしている。 (参考項目：38)		1 ほぼ全ての利用者が
		○	2 利用者の2/3くらいが
			3 利用者の1/3くらいが
			4 ほとんどいない
59	利用者は、職員が支援することで生き生きとした表情や姿が見られている。 (参考項目：36, 37)		1 ほぼ全ての利用者が
		○	2 利用者の2/3くらいが
			3 利用者の1/3くらいが
			4 ほとんどいない

60	利用者は、戸外の行きたいところへ出かけている。 (参考項目：49)		1 ほぼ全ての利用者が
			2 利用者の2/3くらいが
		○	3 利用者の1/3くらいが
			4 ほとんどいない
61	利用者は、健康管理や医療面、安全面で不安なく過ごせている。 (参考項目：30, 31)	○	1 ほぼ全ての利用者が
			2 利用者の2/3くらいが
			3 利用者の1/3くらいが
			4 ほとんどいない
62	利用者は、その時々状況や要望に応じた柔軟な支援により安心して暮らせている。 (参考項目：28)	○	1 ほぼ全ての利用者が
			2 利用者の2/3くらいが
			3 利用者の1/3くらいが
			4 ほとんどいない
63	職員は、家族が困っていること、不安なこと、求めていることをよく聴いており、信頼関係ができている。 (参考項目：9, 10, 19)	○	1 ほぼ全ての家族と
			2 家族の2/3くらいと
			3 家族の1/3くらいと
			4 ほとんどできていない

64	通いの場やグループホームに馴染みの人や地域の人々が訪ねて来ている。 (参考項目：9, 10, 19)		1 ほぼ毎日のように
			2 数日に1回程度ある
		○	3 たまに
			4 ほとんどない
65	運営推進会議を通して、地域住民や地元の関係者とのつながりの拡がりや深まりがあり、事業所の理解者や応援者が増えている。 (参考項目：4)		1 大いに増えている
		○	2 少しずつ増えている
			3 あまり増えていない
			4 全くいない
66	職員は、生き活きと働いている。 (参考項目：11, 12)	○	1 ほぼ全ての職員が
			2 職員の2/3くらいが
			3 職員の1/3くらいが
			4 ほとんどいない
67	職員から見て、利用者はサービスにおおむね満足していると思う。		1 ほぼ全ての利用者が
		○	2 利用者の2/3くらいが
			3 利用者の1/3くらいが
			4 ほとんどいない
68	職員から見て、利用者の家族等はサービスにおおむね満足していると思う。		1 ほぼ全ての家族等が
		○	2 家族等の2/3くらいが
			3 家族等の1/3くらいが
			4 ほとんどいない